

14: 預言者

申13:1-5
申18:心の中に偶像
不義に引き込まれる

14

1ここにイスラエルの長老のうちのある人々が、私の所に

2時に主の言葉が、私に臨んだ、
3人の子よ、これらの人々は、その偶像を心の中に持

ち、罪に落しいるところのつまずきを、その顔の前

に置いている。私はどうして彼らの願いをいれること

ができるようか。

4それゆえ彼らに告げて言え、主なる神は、こう言われ

る、イスラエルの家の人々で、その偶像を心の中に持

ち、その顔の前に罪に落しいるところのつまずくも

のを置きながら、預言者のもとに来る者には、その多く

の偶像のゆえに、主なる私は、みずからこれに答を

する。

5これはその偶像のために、すべて私を離れたイスラエル

の家の心を、私が捕えるためである。

6それゆえイスラエルの家に言え、主なる神はこう言われ

る、あなたがたは悔いて、あなたがたの偶像を捨て

よ。あなたがたの顔を、そのすべての憎むべきものか

らそむけよ。

7イスラエルの家の者およびイスラエルに宿る外国人のだ

れでも、私から離れ、その心に偶像を持ち、その顔の

前に罪に落しいるところのつまずきを置きながら、

預言者に来て、心のままに私に求めるときは、主であ

る私は、みずからこれに答をする。

8私は私の顔を、その人に向け、彼を、しるし、およびこ

とわざとなし、これをわが民のうちから断ち滅ぼす。

その時、あなたがたは私が主であることを知るようにな

なる。

9もし預言者が欺かれて言葉を出すことがあれば、それは

主である私が、その預言者を欺いたのである。私は手

を彼の上に伸べ、わが民イスラエルのうちから彼を滅

ぼす。

10彼らはその罰を負う。その預言者の罰は、問い合わせる者

の罰と同様である。

11これはイスラエルの家が、重ねて私を離れて迷わず、重

ねてそのもろもろのとがによつて、おのれを汚さない

ため、また彼らがわが民となり、私が彼らの神となる

ためであると、主なる神は言われる」。



申32:24

モーゼ・エゼキエル
エレイ5:1

12 主の言葉が、また私に臨んだ、

13 「人の子よ、もし国が私に、もとりそむいて罪を犯しき、これにききんを送り、人と獸とをそのうちから断つ時、

14 たといそこにノア、ダニエル、ヨブの三人がいても、彼らはその義によつて、ただ自分の命を救いうるのみであると、主なる神は言われる。

15 もし私が野の獸にこの地を通らせ、これを荒させ、これ

16 を荒れ地となし、その獸のためにそこを通る者がないようにしたなら、

17 主なる神は言われる、私は生きている、たといこれら三人の者がその中にいても、そのむすこ娘を救うことはできない。ただ自分自身を救いうるのみで、その地は

18 荒れ地となる。

19 あるいは、私がもし、つるぎをその地に臨ませ、つるぎよ、この地を行きめぐれと言つて、人と獸とをそこから断つならば、

20 主なる神は言われる、私は生きている、たといこれら三人の者がその中にいても、そのむすこ娘を救うことはできない。ただ自分自身を救いうるのみである。

21 あるいは、私がもし、この地に疫病を送り、血をもつてわが憤りをその上に注ぎ、人と獸とをそこから断つならば、

22 主なる神は言われる、私は生きている、たといノア、ダニエル、ヨブがそこにいても、彼らはそのむすこ娘を救うことができない。ただその義によつて自分の命を救いうるのみである。

23 しかし、もしそれがあなたがたに来るとき、むすこ娘たちを助け出する者が、その中に残つていて、あなたがたがその行いと、わざとを見るならば、私がエルサレムの上に与えたすべての災について慰められるであろう。

24 すなわち、あなたがたが、その行いと、わざとを見る時、彼らはあなたがたを慰め、あなたがたは私がこれに行つた事は、すべてゆえなくしたのではないことを知るようになると、主なる神は言われる」。

1 主の言葉が私に臨んだ、

2 「人の子よ、ぶどうの木、森の木のうちにあるぶどうの枝は、ほかの木になんのまさる所があるか。

3 その木は何かを造るために用いられるか。また人はこれを用いて、器物を掛ける木釘を造るだろうか。

4 見よ、これは火に投げ入れられて燃える。火がその両端を焼いたとき、またその中ほどがこげたとき、それはなんの役に立つだろうか。

5 見よ、これは完全な時でも、なんの用をもなさない。まして火がこれを焼き、これをこがした時には、なんの役に立つだろうか。

6 それゆえ主なる神はこう言われる、私が森の木の中のぶどうの木を、火に投げ入れて焼くように、エルサレムの住民をそのようにする。

7 私は私の顔を彼らに向けて攻める。彼らがその火からのがれても、火は彼らを焼き尽す。私が顔を彼らに向けて攻める時、あなたがたは私が主であることを知る。

8 彼らが、もとりそむいたゆえに、私はこの地を荒れ地とすると、主なる神は言われる」。

15

刑罰がくる時

ぶどうの木を焼く



76:46 - (イドルのモラのみ) どうの木 → 申32:32

イサヤ カヤン
サマリヤの女

至る女

32:

32:13

1 王の言葉が再び私に臨んだ、
2 「人の子よ、エルサレムにその憎むべき事どもを示し
て、
3 言え。主なる神はエルサレムにこう言われる、あなたの
起り、あなたの生れはカナンびとの地である。あなたの
の父はアモリびと、あなたの母はヘテビとある。
4 あなたの生れについていえば、その生れた日に、ヘそ
緒は切られず、水で洗い清められず、塩でこすられ
ず、また布で包まれなかつた。
5 とりもあなたをわれみ見る者なく、情をもつてこれ
らのことの一つをも、あなたにしてやる者もなく、あ
なたの生れた日に、あなたはきらわれて、野原に捨て
られた。
6 私はあなたのかたわらを通り、あなたが血の中にころが
りまわっているのを見た時、私は血の中にいるあなた
に言つた、「生きよ、
7 野の木のように育て」と。すなわちあなたは成長して大
きくなり、一人前の女になり、その乳ぶさは形が整
い、髪は長くなつたが、着物がなく、裸であった。
8 私は再びあなたのかたわらをとおつて、あなたを見た
が、見よ、あなたは愛せられる年齢に達していたの
で、私は着物のすそであなたをおおい、あなたの裸を
かくし、そしてあなたに誓い、あなたと契約を結ん
だ。そしてあなたは私のものとなつたと、主なる神は
言われる。
9 そこで私は水であなたを洗い、あなたの血を洗い落して
油を塗り、
10 繾い取りした着物を着せ、皮のくつをはかせ、細布をか
ぶらせ、絹のきれであなたをおおつた。
11 また飾り物であなたを飾り、腕輪をあなたの手にはめ、
鎖をあなたの首にかけ、
12 鼻には鼻輪、耳には耳輪、頭には美しい冠を与えた。
13 このようにあなたは金銀で飾られ、細布、絹、纏い取り
の服をあなたの衣とし、麦粉と、蜜と、油とを食べ
た。あなたは非常に美しくなつたこと、またあつてはならな
いことである。
14 あなたの美しさのために、あなたの名声は国々に広まつ
た。これは私が、あなたに施した飾りによつて全うさ
れたからであると、主なる神は言われる。

15 ところが、あなたは自分の美しさをたのみ、自分の名声
によつて姦淫を行い、すべてかたわらを通る者と、ほ
しいままに姦淫を行つた。
16 あなたは自分の衣をとつて、自分のために、はなやかに
色どつた聖所を造り、その上で姦淫を行つてゐる。こ
んなことはかつてなかつたこと、またあつてはならな
いことである。
17 あなたは私が与えた金銀の美しい飾りの品をとり、自分
のために男の像を造つて、これと姦淫を行つた。
18 また纏い取りのある自分の衣をとつて彼らに着せ、私の
油と香とをその前に供え、
19 また私はあなたに与えたパン、私があなたを養うための
麥粉、油および蜜を、こうばしきかおりとして彼らの
前に供えたと、主なる神は言われる。
20 あなたはまた、あなたが私に産んだむすこ、娘たちをと
つて、その像に供え、彼らに食わせた。このようなあ
なたの姦淫は小さい事であろうか。
21 あなたは私の子どもを殺し、火の中を通らせて彼らにさ
させた。
22 あなたがそのすべての憎むべきことや姦淫を行うに當
つて、あなたが衣もなく、裸で、血の中にころがりまわ
つて、自分の若き日のことを思わなかつた。

23 あなたがもろもろの悪を行つた後、(あなたはわざわい
だ、わざわいだと、主なる神は言われる)
24 あなたは自分のために高樓を建て、廣場、廣場に台を造
り、
25 あなたはまた、かの肉欲的な隣りエジプトの人々と姦淫
を行ひ、大いに姦淫を行つて、私を怒らせた。
26 あなたはまた、かの肉欲的な隣りエジプトの人々と姦淫
を行ひ、大いに姦淫を行つて、私を怒らせた。
27 それゆえ、私は私の手をあなたの上に伸べて、あなたの
賜わる分を減らし、あなたの敵、すなわち、あなたの
みだらな行為を恥じるペリシテびとの娘らの欲のままで、
あなたを渡した。
28 あなたは飽くことがないので、またアッスリヤの人々と
姦淫を行つたが、彼らと姦淫を行つても、なお飽くこ
とがなかつた。
29 あなたはまたカルデヤの商業地と大いに姦淫を行つた
が、これと姦淫を行つても、なお飽くことがなかつ
た。
30 主なる神は言われる、あなたの心はどんなに恋いわざら
うのか。あなたは、これらすべての事を行つた。これ
はあつかましい姦淫のわざである。
31 あなたは、ちまた、ちまたのつじに高樓を建て、廣場、
廣場に台を設けたが、価をもらうことをあざけつたの
で、遊女のようではなかつた。
32 自分の夫に替えて他人と通じる姦婦よ。
33 人はすべての遊女に物を与える。しかしあなたはすべて
の恋人に物を与え、彼らにまいないして、あなたと
姦淫するため、四方からあなたの所にこさせる。
34 このようにあなたは姦淫を行ふに当つて、他の女と違つ
て、あなたがその恋人と姦淫して、あなたがその恋人と姦淫し
て、あなたは非常に美しくなつたこと、またあつてはならな
い。あなたはかえつて価を払い、相手はあなたに
払わない。これがあなたの違うところである。
35 それで遊女よ、主の言葉を聞け。
36 主なる神はこう言われる、あなたがその恋人と姦淫し
て、あなたの恥じる所をあらわし、あなたの裸をあら
わし、またすべての偶像と、あなたが彼方にささげた
あなたとの恥じる所をあらわし、あなたが僧だ
と見よ、私はあなたと遊んだがあなたのすべての恋人、およ
びすべてあなたが恋した者と、すべてあなたが憎んだ
者とを集め、四方から彼らをあなたの所に集めて、あなた
の裸を彼らにあらわす。彼らはあなたの裸を、こ
とごとく見る。
38 私は姦淫を行つた女と、血を流した女がさばかれるよう
に、あなたをさばき、慣りと、ねたみの血とを、あな
たに注ぐ。
39 私はあなたを悉人の手に渡す。彼らはあなたの高樓を倒
し、台をこわし、あなたの衣をはぎ取り、あなたの美
しい飾りの品を奪い、あなたを衣服のない裸者にす
る。
40 彼らは民衆をかり立ててあなたを攻め、石であなたを撃
ち、つるぎであなたを切り、
41 火であなたの家を焼き、多くの女たちの前で、あなたに
さばきを行ふ。こうして私はあなたに淫行をやめさせ、重ねて価を払わせないようにする。
42 そしてあなたに対するわが慣りをしずめ、わがねたみを
あなたから離し、私は心を安んじて、再び怒ることを
しない。
43 またあなたはその若き日の事を覚えず、すべてこれらの
事をもつて、私を怒らせたから、見よ、私もあなたの
行うところをあなたのこうべに報いると、主なる神は
あなたはもちろろんの憎むべき事に加えて、このみだらな
事をおこなつたではないか。



44 見よ、すべてことわざを用いる者は、あなたについて、「この母にしてこの娘あり」という、ことわざを用いる。

45 あなたは、その夫と子どもとを捨てたあなたの母の娘、またその夫と子どもとを捨てた姉妹を持つている。あなたの母はヘテビト、あなたの父はアモリビト、

46 あなたの姉はサマリヤ、サマリヤはその娘たちと共に、あなたの北に住み、あなたの妹はソドムで、その娘たちと共に、あなたの南に住んでいる。

47 あなたは彼らの道を歩まず、彼らの憎むべき事に従つていいが、しばらくすると、あなたのおこないは、彼らよりもさらにも悪くなる。

48 主なる神は言われる、私は生きている。あなたの妹ソドムとその娘たちは、あなたとあなたの娘たちがしたほとことはしなかつた。

49 見よ、あなたの妹ソドムの罪はこれである。すなわち、彼女と、その娘たちは高ぶり、食物に飽き、安泰に暮していたが、彼らは、乏しい者と貧しい者を助けなかつた。

50 彼らは高ぶり、私の前に憎むべき事をおこなつたので、私はそれを見た時、彼らを除いた。

51 サマリヤはあなたの半分も罪を犯さなかつた。あなたは彼らよりも多く憎むべき事をおこない、あなたのおこなつたもろもろの憎むべき事によつて、あなたの姉妹を義と見せかけた。

52 あなたはその姉妹を有利にさばいたことによつて、あなたもまた自分のはずかしめを負わなければならぬ。

53 私はあなたが彼らよりも、さらに憎むべきことをしめた罪によつて、彼らはあなたよりも義とされるからである。それであなたも恥を受け、はずかしめを負わなければならぬ。それはあなたがその姉妹を義と見せかけたからである。

(コリト11:)

申32:32

53 私は彼らの幸福をもとに返す。すなわちソドムとその娘たちの幸福、サマリヤとその娘たちの幸福、また彼らの中にいるあなたの幸福をもとに返す。

54 これはあなたに自分のはずかしめを負わせるため、またすべてあなたのなした事を恥じさせるためである。こうしてあなたは彼らの慰めとなる。

55 あなたの姉妹ソドムと、その娘たちは、そのもの所に帰り、サマリヤと、その娘たちは、そのもの所に帰り、あなたと、あなたの娘たちは、そのもの所に帰る。

56 あなたの高ぶりの日に、あなたの姉妹ソドムは、あなたの口に、ことわざとなつたではなかつたか。

57 すなわちあなたの悪があらわされた時まで、そうではなかつたか。しかし今はあなたも彼女と同様に、ソドムの娘たちと、すべてその周囲の者、および四方からあなたをあざけるペリシテの娘たちのそしりとなつた。

58 あなたはあなたのみだらな行為と、あなたの憎むべき事のとがとを、身に負つていると主は言われる。

59 主なる神はこう言われる、「誓いを軽んじ」契約を破つたあなたには、あなたがしたように、私もあなたにする。

60 しかし私はあなたの若き日に、あなたと結んだ契約を覚え、永遠の契約をあなたと立てる。

61 私があなたの姉および妹を受け、またあなたとの契約によらずに、娘として彼らをあなたに与える時、あなたは自分のおこないを思い出して恥じる。

62 私はあなたと契約を立て、あなたは私が主であることを知るようになる。

63 こうしてすべてあなたの行ったことにつき、私があなたをゆるす時、あなたはそれを思い出して恥じ、その恥のゆえに重ねて口を開くことがないと、主なる神は言われる」。

聖書解説

不義

主の約束と誓い 申29:

申32:11

大わしとひとう

1 時に主の言葉が私に臨んだ、

2 人の子よ、イスラエルの家になぞをかけ、たとえを語

つて、

3 言え。主なる神がこう言われる、さまざまの色の羽毛を

多く持ち、大きな翼と、長い羽根とを持つ大わしがレ

バノンに来て、香柏のこずえにとまり、

4 その若枝の頂を摘み切り、これを商業の地に運び、商人

の町に置いた。

5 またその地の種をとつて、これを肥えた土に植えた。す

なわち水の多い所にもつて行って、柳を植えるように

これを植えた。

6 これが成長して、たけ低く、はびごるぶどうの木とな

り、枝はわしに向かい、根はわしの下にあり、こうし

てついにぶどうの木となり、枝を伸ばし、葉を出し

た。

7 ここにまた大きな翼と、羽毛の多いほかの一羽の大わし

があつた。見よ、このぶどうの木は、潤いを得るために、その根をわしに向かつてまげ、その枝をわしに向

かって伸ばした。

8 これが枝を出し、実を結び、みことなぶどうの木となる

ために、わしはこれを植えた苗床から水の多い良い地

に移し植えた。

9 あなたは、主なる神がこう言われると言え、これは榮え

るであろうか。わしはその根を抜き、その枝を切り、

その若葉を皆枯らさないであろうか。これをその根か

らあげるには、強い腕や多くの民を必要としない。

10 見よ、それが移し植えられたら、また榮えるであろう

か。東風がこれを打つ時、それは枯れてしまわないであ

ろうか。その育った苗床で枯れないであろうか」。

11 王の言葉がまた私に臨んだ、

12 「反逆の家に言え。これらがなんであるかをあなたがた

は知らないのか。彼らに言え、見よ、バビロンの王が

エルサレムにきて、その王とつかさとを捕え、これを

バビロンに引いて行った。

13 また王の子孫のひとりを捕えて、これと契約を結び、誓

いを立てさせ、また國のおもだつた人々を捕えて行つ

た。

14 これはこの國を卑しくして、みずから立つことができな

いようにし、その契約を守ることによつて立たせるた

めである。

15 しかし彼はバビロンの王にそむき、使者をエジプトに送

つて、馬と多くの兵とをそこから獲ようとした。彼は

成功するだろうか。このようなことをなす者は、のが

れることができようか。

16 契約を破つてなおがれることができようか。主なる神

は言われる、私は生きている、必ず彼は自分を王とな

した王の住む所、彼が立てた誓いを軽んじ、その契約

を破つた相手の王のいるバビロンで彼は死ぬ。

17 多くの命を断つたために壘を築き、雲梯を建てるとき、バ

ロは決して大いなる軍勢と、多くの人とをもつて、彼

を助けて戦いをしない。

18 彼は誓いを軽んじ、契約を破り、その手を与えて誓いな

がら、なおこれらの事をしたゆえ、のがれることはで

きない。

19 それゆえ、主なる神はこう言われる、私は生きている、

彼が私の誓いを軽んじ、私の契約を破つたことを、必ず彼のこうべに報いる。

20 私はわが網を彼の上に打ちかけ、彼をわがわなに捕え

て、バビロンに引いて行き、彼が私にむかつて犯した

反逆のために、その所で彼をさばく。

21 彼のすべての軍隊のえり抜きの兵士は皆つるぎに倒れ、

生き残つた者は八方に散らされる。そしてあなたがた

は主なる私が、これを語つたことを知るようにな

る」。

22 主なる神はこう言われる、「私はまた香柏の高いこずえから小枝をとつて、これを植え、その若芽の頂から柔かい芽を摘みとり、これを高いすぐれた山に植える。

23 私はイスラエルの高い山にこれを植える。これは枝を出

し、実を結び、みことな香柏となり、その下にもちろ

ろの種類の獸が住み、その枝の陰に各種の鳥が巣をつ

くる。

24 そして野のすべての木は、主なる私が高い木を低くし、低い木を高くし、緑の木を枯らし、枯れ木を緑にする

ことを知るようになる。主である私はこれを語り、こ

木村
バビロン

バビロンに注



公義・立ち返子
生きる

正義・公正
(律法) 18:

生きる

2416 Chay × 51

2421 Chayah × 31

④24:16

22:

④24:10-16

1 主の言葉が私に臨んだ。
2 「あなたがたがイスラエルの地について、このことわざを用い、「父たちが、酔いぶどうを食べたので子供たちの歯がうく」というのはどんなわけか。
3 主なる神は言われる、私は生きている、あなたがたは再びイスラエルでこのことわざを用いることはない。
4 見よ、すべての魂は私のものである。○父の魂も子の魂も私のものである。罪を犯した魂は必ず死ぬ。
5 人がもし正しくあつて、公道と正義とを行い、
6 山の上で食事をせず、また目をあげてイスラエルの家の偶像を仰がず、隣り人の妻を犯さず、汚れの時にある女に近づかず、
7 だれをもしえたげず、質物を返し、決して奪わず、食物を飢えた者に与え、裸の者に衣服を着せ、
8 利息や高利をとつて貸さず、手をひいて悪を行はず、人ととの間に眞実のさばきを行い、
9 私の定めに歩み、私のおきてを忠実に守るならば、彼は正しい人である。彼は必ず生きることができると、主なる神は言われる。
10 しかし彼が子を生み、その子が荒い者で、人の血を流し、これらの義務の一つをも行わず、
11 かえつて山の上で食事をし、隣り人の妻を犯し、
12 货しい者や貧しい者をしえたげ、物を奪い、質物を返さず、目をあげて偶像を仰ぎ、憎むべき事をおこない、
13 利息や高利をとつて貸すならば、その子は生きるであろうか。彼は生きることはできない。彼はこれらの憎むべき事をしたので、必ず死に、その血は彼自身に帰する。

14 しかし彼が子を生み、その子が父の行つたすべての罪を見て、恐れ、そのようなことを行はず、
15 山の上で食事せず、目をあげてイスラエルの家の偶像を仰がず、隣り人の妻を犯さず、
16 だれをもしえたげず、質物をひき留めず、物を奪わず、かえつて自分の食物を飢えた者に与え、裸の者に衣服を着せ、
17 その手をひいて悪を行わず、利息や高利をとらず、私のおかげを行ひ、私の定めに歩むならば、彼はその父の惡のために死なず、必ず生きる。

18 しかしその父は人をかすめ、その兄弟の物を奪い、そのために死ぬ。
19 しかしあなたがたは、「なぜ、子は父の惡を負わないのか」と言う。子は公道と正義とを行い、私のすべての定めを守つておこなつたので、必ず生きるのである。
20 罪を犯す魂は死ぬ。子は父の惡を負わない。父は子の惡を負わない。義人の義はその人に帰し、悪人の惡はその人に帰する。

21 しかし、悪人がもしその行つたもうもろの罪を離れ、私のすべての定めを守り、公道と正義とを行うならば、彼は必ず生きる。死ぬことはない。
22 その犯したもうもろのとは、彼に對して覚えられない。彼はそのなした正しい事のために生きる。
23 主なる神は言われる、私は悪人の死を好むであろうか。むしろ彼がそのおこないを離れて生きることを好んでいるではないか。
24 しかし義人がもしその義を離れて悪を行い、悪人のなすもうもろの憎むべき事を行うならば、生きるであろうか。彼が行つたもうもろの正しい事は覚えられない。彼はその犯したとがと、その犯した罪とのために死ぬ。
25 しかしあなたがたは、「主のおこないは正しくない」と言ふ。イスラエルの家よ、聞け。私のおこないは正しくないのか。正しくないのは、あなたがたのおこないではないか。
26 義人がその義を離れて悪を行い、そのためには死ねならば、彼は自分の行つた悪のために死ぬのである。
27 しかし悪人がその行つた悪を離れて、公道と正義とを行なうならば、彼は自分の命を救うことができる。
28 彼は省みて、その犯したすべてのとがを離れたのだから必ず生きる。死ぬことはない。
29 しかしイスラエルの家は「主のおこないは正しくない」と言ふ。イスラエルの家よ、私のおこないは、はたして正しくないのか。正しくないのは、あなたがたのおこないではないか。
30 それゆえ、イスラエルの家よ、私はあなたがたを、おのそのおこないに従つてさばくと、主なる神は言われる。悔い改めて、あなたがたのすべてのとがを離れよ。さもないと惡はあなたがたを滅ぼす。
31 あなたがたが私に對しておこなつたすべてのとがを捨て去り、新しい心と、新しい靈とを得よ。イスラエルの家よ、あなたがたはどうして死んでよからうか。
32 私は何人との死をも喜ばないのであると、主なる神は言われる。それゆえ、あなたがたは翻つて生きよ」。



1 あなたはイスラエルの君たちのために悲しみの歌をのべて

2 言え、あなたの母はししのうちにあつて、どんな離じしであつたろう。

3 彼女は若いしのうちに伏して子じしを養つた。それは若いししとなつて、

4 獲物をとることを学び、人を食べた。人々の人は彼に對して叫び声をあげ、落し穴でこれを捕え、

5 かぎでこれをエジプトの地に引いて行つた。離じしは自分の思いが破れ、

6 その望みを失つたのを見たので、ほかの子じしをとつて、これを若い子じしとした。彼はししのうちに行き来し、若いししとなつて、獲物をとることを学び、人を食べた。

7 彼はその要害を荒し、その町々を滅ぼした。そのほえる声によつて、その地とその中に満ちるものとは皆憚れた。

8 そこで人々の人は彼に對して四方にわなを設け、彼に網を打ちかけ、落し穴で彼を捕えた。彼らはかぎをもつて、これをかごに入れ、これをバビロンの王のもとに連れて行き、これをおりの中に入れて、再びその声をイスラエルの山々に聞えさせないようにした。

10 あなたの母は水のほとりに移し植えられた

11 ぶどう畠のぶどうの木のようで、水が多いために実りがよく、枝がはびこつた。その強い幹は君たる者のつえとなつた。

12 それは茂みの中に高く見えた。多くの枝をつけて高く見えた。

13 しかしこのぶどうの木は憤りによつて抜かれ、地に投げうたれ、東風がそれを枯らし、

14 その実はもぎ取られ、その強い幹は枯れて、火に焼き滅ぼされた。

15 今これは荒野に、かわいた、水のない地に移し植えられ、

16 火がその幹から出て、その枝と実とを滅ぼしたので、強い幹で君たる者のつえとなるべきものはそこにはない。

これが悲しみの言葉、また悲しみの歌となつた。

捕囚

杖孔・突孔

荒地に

哀歌

